

平成 21 年 1 月 14 日
気象庁地球環境・海洋部

配信資料に関する技術情報（気象編）第 293 号

～ 異常天候早期警戒情報ガイダンスの配信について ～
（配信資料に関する技術情報（気象編）第 274, 286 号関連）
（平成 21 年 1 月 9 日 お知らせ「異常天候早期警戒情報ガイダンスの提供開始
について」関連）

平成 21 年 3 月 13 日（金）から、異常天候早期警戒情報ガイダンスの提供を開始します。配信日は、毎週の火曜日と金曜日です。

異常天候早期警戒情報ガイダンスのフォーマットは 3 月 13 日金曜日から新しくなる 1 か月予報ガイダンスと同様です。詳細につきましては、別添の解説資料「異常天候早期警戒情報ガイダンスのファイルについて」をご参照下さい。

1．開始日

平成 21 年 3 月 13 日（金）

2．配信日

毎週の火曜日と金曜日

3．配信内容

2 週先までの各地域または各地点の 7 日間平均気温に関する確率的な基礎資料。保存形式は CSV 形式ファイル。

CSV 形式ファイルのフォーマットについては別添の解説資料を参照。

平成 21 年 1 月
気象庁地球環境・海洋部

異常天候早期警戒情報ガイダンスのファイルについて

1. ファイルの提供日

異常天候早期警戒情報ガイダンスは平成 21 年 3 月 13 日（金）からの毎週火曜日と金曜日に配信する。

2. ファイルの命名規則

地点に関する異常天候早期警戒情報ガイダンスのファイル名は次のとおりである。

Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmss_EPS1_GUID_RS-all_JRlong_Patt_tablr.csv

地域平均に関する異常天候早期警戒情報ガイダンスのファイル名は、下表にある地域略称を用いて、次のとおりである。

Z_C_RJTD_yyyyMMddhhmss_EPS1_GUID_RJ(地域略称)_JRlong_Patt_tablr.csv

ここで、いずれのファイルも CSV 形式ファイル（カンマで区切られたテキストデータ）である。また、yyyyMMddhhmss は、ガイダンスの基である数値予報モデル（1 か月予報モデル）の初期時刻（年月日時分秒の並び、通常提供日前日の 21 時）であり、UTC（世界協定時）で示す。

地域略称と地域の対応表

略称	地域名	略称	地域名	略称	地域名
knh00	北日本	hkd00	北海道地方	knk00	近畿地方
knh01	北日本日本海側	hkd01	北海道日本海側	knk01	近畿日本海側
knh02	北日本太平洋側	hkd03	北海道オホーツク海側	knk02	近畿太平洋側
hnh00	東日本	hkd02	北海道太平洋側	cgk00	中国地方
hnh01	東日本日本海側	thk00	東北地方	cgk06	山陰
hnh02	東日本太平洋側	thk01	東北日本海側	cgk07	山陽
nnh00	西日本	thk02	東北太平洋側	skk00	四国地方
nnh01	西日本日本海側	thk05	東北北部	kyh00	九州北部地方
nnh02	西日本太平洋側	thk04	東北南部	kyn00	九州南部・奄美地方
nss00	沖縄・奄美	ktk00	関東甲信地方	kyn08	九州南部
		hkr00	北陸地方	kyn09	奄美地方
		tki00	東海地方	okn00	沖縄地方

3. サンプルデータ

サンプルデータを CD-ROM 1 枚に収録して提供しますので、必要な場合はご利用下さい。なお、サンプルデータの初期年月日は 2009 年 1 月 5 日であり、ファイル名の yyyyMMddhhmss は 20090105120000 となります。また、予測資料行の一部で確率値等の値がない場合（値が-9999）とする例がありますが、提供時の当該値が常に値なしという意味ではありませんのでご注意下さい。

4. CSV 形式ファイルのフォーマット

CSV 形式ファイルのフォーマット（1 行の構成と行の並び方）は以下のとおりである。

行の構成

各ファイルは「初期時刻行」、「予測資料行」の 2 種の行により構成されている。各行の説明を下記に示

す。表の1段目はカラムの説明、2段目は文字数、3段目は数値予報ガイドスのデータの例を示す。各カラムにデータを右詰で収録し、余りはスペースで埋める。各表の下にカラムの詳細を示した。各表中の「C」はカンマ(,)のカラムを表す。

初期時刻行

初期値年	C	初期値月	C	初期値日	C	バージョン情報	C
5	1	5	1	5	1	5	1
2005	,	9	,	1	,	1	,

初期値年・月・日・時・分は、ガイドスの基である数値予報モデルの初期値時刻を世界協定時を用いて表す。バージョン情報はフォーマットの変更等に応じた通し番号であり、今回のファイルから1とする。

地域平均の予測資料行

予測対象期間開始年	C	予測対象期間開始月	C	予測対象期間開始日	C	予測対象期間終了年	C	予測対象期間終了月	C	予測対象期間終了日	C	予測対象期間長	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
2005	,	8	,	26	,	2005	,	9	,	1	,	7	,

続く

地域番号	C	要素番号	C	予測式の種別	C	予測値* (アンサンブル平均値)	C	累積確率(閾値1)*	C	...	C	累積確率(閾値101)*	C	かなり低(少ない)確率*	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	...	1	5	1	5	1
1	,	1	,	3	,	10	,	0	,	...	,	100	,	5	,

続く

低(少ない)確率*	C	平年並の確率*	C	高(多い)確率*	C	かなり高(多い)確率*	C	かなり低(少ない)区分値*	C	低(少ない)区分値*	C	高(多い)区分値*	C	かなり高(多い)区分値*	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
15	,	25	,	35	,	20	,	-20	,	-8	,	8	,	15	,

地点の予測資料行

予測対象期間開始年	C	予測対象期間開始月	C	予測対象期間開始日	C	予測対象期間終了年	C	予測対象期間終了月	C	予測対象期間終了日	C	予測対象期間長	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	5	1
2005	,	8	,	26	,	2005	,	9	,	1	,	7	,

続く

地点番号	C	要素番号	C	予測式の種別	C	予測値* (アンサンブル平均値)	C	累積確率(閾値1)*	C	...	C	累積確率(閾値141)*	C
5	1	5	1	5	1	5	1	5	1	...	1	5	1
1	,	1	,	3	,	10	,	0	,	...	,	100	,

- 予測対象期間長 : 本行が収録している予測結果の対象期間の長さを日を単位として表す。
- 地域番号 : 表1にまとめた。
- 要素番号、予測値 : 予測要素に割り振った番号と予測値の単位について表2にまとめた。
- 予測式の種別 : 表3にまとめた。
- 確率値 : 天気日数については、「平年値より少ない確率」と「平年値以上の確率」となる。
- 区分値 : 地域平均階級区分値として表4にまとめた。
- 累積確率 : 閾値の範囲を表5にまとめた。
- 地点番号 : 表6にまとめた。
- 地点の累積確率 : 地点の閾値の範囲を表7にまとめた。

*がついているカラムは値が無い場合"-9999"とする。

行の並び

各ファイル中のデータ行の並びは次のとおり。

- 第1行:「初期時刻行」
- 第2行以降は、「予測資料行」を次のとおり並べる。
- 確率ガイドスについて、要素番号1を予測対象期間長7日のみ並べる。

表1 地域番号と地域名

番号	地域名	番号	地域名	番号	地域名
1	北日本	11	北海道地方	23	近畿地方
2	北日本日本海側	12	北海道日本海側	24	近畿日本海側
3	北日本太平洋側	13	北海道オホーツク海側	25	近畿太平洋側
4	東日本	14	北海道太平洋側	26	中国地方
5	東日本日本海側	15	東北地方	27	山陰
6	東日本太平洋側	16	東北日本海側	28	山陽
7	西日本	17	東北太平洋側	29	四国地方
8	西日本日本海側	18	東北北部	30	九州北部地方
9	西日本太平洋側	19	東北南部	31	九州南部・奄美地方
10	沖縄・奄美	20	関東甲信地方	32	九州南部
		21	北陸地方	33	奄美地方
		22	東海地方	34	沖縄地方

表2 予測要素とアンサンプル平均値の単位

要素番号	要素	単位
1	気温平年差	0.1
2	降水量平年比	%
3	日照時間平年比	%
4	晴れ日数*1	0.1 日
5	降水日数*2	0.1 日
6	雨日数*3	0.1 日
7	降雪量平年比	%

*1 日照率40%以上の日数。日照率は、1日の日照時間を可照時間（日の出から日の入りまでの時間）で割った値。

*2 日降水量1mm以上の日数。

*3 日降水量10mm以上の日数。

表3 予測式の種別

番号	意味
1	日別予測式
2	期間平均予測式
3	確率ガイダンス

表4 階級区分値

項目	意味
「かなり低（少ない）」の区分値	この値以下でかなり低（少ない）階級となる
「低（少ない）」の区分値	この値以下で低（少ない）階級となる
「高（多い）」の区分値	この値より大きいと高（多い）階級となる
「かなり高（多い）」の区分値	この値より大きいとかなり高（多い）階級となる

表5 閾値の範囲

要素	閾値1	閾値2	...	閾値51	...	閾値100	閾値101	増分
気温平年差 (0.1)	-50	-49		0		49	50	1
降水量平年比 (%)	0	2		100		198	200	2
日照時間平年比 (%)	0	2		100		198	200	2
晴れ日数平年差 (0.1 日)	-50	-49		0		49	50	1
降水日数平年差 (0.1 日)	-50	-49		0		49	50	1
雨日数平年差 (0.1 日)	-50	-49		0		49	50	1
降雪量平年比 (%)	0	2		100		198	200	2

表6 国際地点番号と地点名

47401	稚内	47602	相川	47677	三宅島	47821	阿蘇山
47402	北見枝幸	47604	新潟	47678	八丈島	47822	延岡
47404	羽幌	47605	金沢	47682	千葉	47823	阿久根
47405	雄武	47606	伏木	47684	四日市	47824	人吉
47406	留萌	47607	富山	47690	日光	47827	鹿児島
47407	旭川	47610	長野	47740	西郷	47829	都城
47409	網走	47612	高田	47741	松江	47830	宮崎
47411	小樽	47615	宇都宮	47742	境	47831	枕崎
47412	札幌	47616	福井	47744	米子	47835	油津
47413	岩見沢	47617	高山	47746	鳥取	47836	屋久島
47417	帯広	47618	松本	47747	豊岡	47837	種子島
47418	釧路	47620	諏訪	47750	舞鶴	47838	牛深
47420	根室	47622	軽井沢	47754	萩	47843	福江
47421	寿都	47624	前橋	47755	浜田	47887	松山
47423	室蘭	47626	熊谷	47756	津山	47890	多度津
47424	苫小牧	47629	水戸	47759	京都	47891	高松
47426	浦河	47631	敦賀	47761	彦根	47892	宇和島
47428	江差	47632	岐阜	47762	下関	47893	高知
47430	函館	47636	名古屋	47765	広島	47895	徳島
47433	倶知安	47637	飯田	47766	呉	47897	宿毛
47435	紋別	47638	甲府	47767	福山	47898	清水
47440	広尾	47640	河口湖	47768	岡山	47899	室戸岬
47512	大船渡	47641	秩父	47769	姫路	47909	名瀬
47520	新庄	47646	館野	47770	神戸	47912	与那国島
47570	若松	47648	銚子	47772	大阪	47918	石垣島
47574	深浦	47649	上野	47776	洲本	47927	宮古島
47575	青森	47651	津	47777	和歌山	47929	久米島
47576	むつ	47653	伊良湖	47778	潮岬	47936	那覇
47581	八戸	47654	浜松	47780	奈良	47940	名護
47582	秋田	47655	御前崎	47784	山口	47942	沖永良部
47584	盛岡	47656	静岡	47800	巖原	47945	南大東島
47585	宮古	47657	三島	47805	平戸	47971	父島
47587	酒田	47662	東京	47807	福岡		
47588	山形	47663	尾鷲	47809	飯塚		
47590	仙台	47666	石廊崎	47812	佐世保		
47592	石巻	47668	網代	47813	佐賀		
47595	福島	47670	横浜	47814	日田		
47597	白河	47672	館山	47815	大分		
47598	小名浜	47674	勝浦	47817	長崎		
47600	輪島	47675	大島	47819	熊本		

表7 地点の閾値の範囲

要素	閾値 1	閾値 2	...	閾値 71	...	閾値 140	閾値 141	増分
気温平年差 (0.1)	-70	-69		0		69	70	1
降水量平年比 (%)	0	2		140		278	280	2
日照時間平年比 (%)	0	2		140		278	280	2
晴れ日数平年差 (0.1 日)	-70	-69		0		69	70	1
降水日数平年差 (0.1 日)	-70	-69		0		69	70	1
雨日数平年差 (0.1 日)	-70	-69		0		69	70	1
降雪量平年比 (%)	0	2		140		278	280	2